

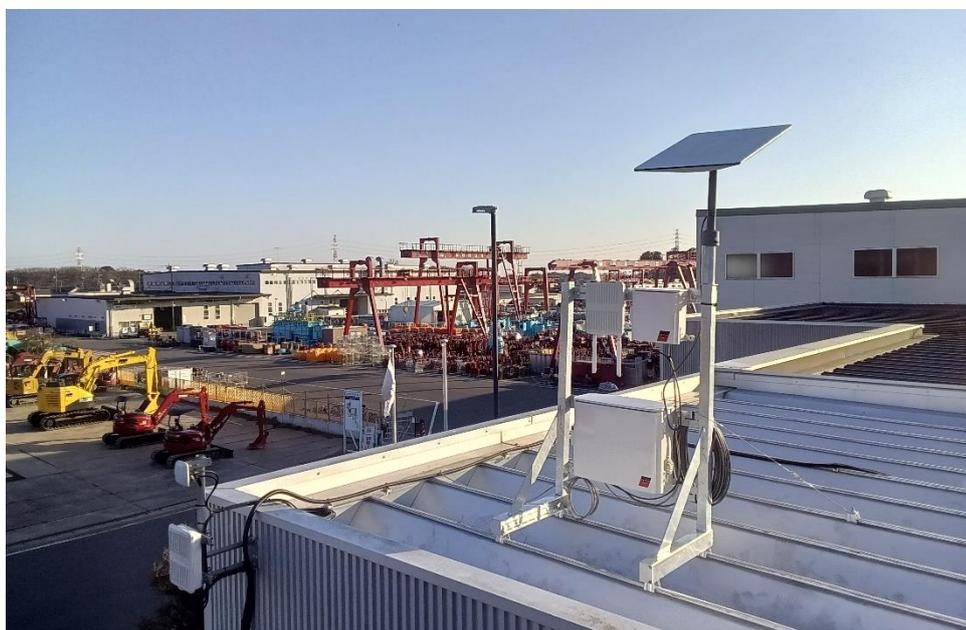
報道関係各位

2026年2月26日

災害時の迅速な復旧・復興支援を可能に 「Starlink Business」をアクティオ佐野テクノパーク統括工場に設置

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、災害発生時の迅速な復旧・復興支援を目的として、アクティオ佐野テクノパーク統括工場に衛星通信サービス「Starlink Business(スターリンクビジネス)」のアンテナを2026年2月26日(木)から設置いたしました。



【佐野テクノパーク統括工場 設置風景】

近年、豪雨や大雪、地震などの自然災害が各地で頻発しています。災害時には、電話やインターネットへのアクセス集中や、倒木・積雪などによって電力線や通信ケーブルが断線されてしまい、基地局が機能停止し通信障害が発生しやすくなります。このような状況では、行政機関との連携が困難になり、必要な情報が届かず救援や復旧などの大幅な遅延が懸念されます。

今回、災害発生時の迅速な復旧・復興支援を目的として佐野テクノパーク統括工場に衛星通信サービス「Starlink Business」のアンテナを設置いたしました。衛星通信サービス「Starlink Business」とは、法人向けの低軌道衛星ブロードバンドインターネットサービスです。災害などで通信が遮断された場合でも、「Starlink」の衛星ネットワークを活用することで、重要な業務システムへのアクセスや行政機関との連絡を確保し、ビジネスの継続性を維持することが可能です。さらに、災害時には情報収集や安否確認など、通信手段の確保が住民の生命と安全を守る重要な要素となるため、佐野テクノパーク統括工場を地域住民に開放し、インターネット接続環境の提供を行っていきます。当社施設を地域の防災拠点として機能させることで、地域社会のレジリエンス(回復力)向上に貢献していきます。

アクティオは今後も防災対策を推進し、より安全・安心に暮らせる地域社会づくりに取り組んでまいります。

■佐野テクノパーク統括工場



東京から約 60km という立地を生かし、関東だけでなく、全国のアクティオ製品の整備・運用を担う中核工場です。近年の多様化するニーズに対応するため、工場に設計室と 3DCAD を設置、工場内製作やトレーニングフィールドで実証が出来るようになっていました。また、保有する井戸は栃木市の「災害時協力井戸」として登録されています。

敷地面積／67,236.42 m²(20,339.01 坪)

建築面積／8,507.14 m²(2,573.40 坪)

延床面積／9,809.75 m²(2,967.44 坪)

所在地／栃木県栃木市藤岡町都賀 1353

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。

アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、五十嵐

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp